

平成22年度 事務事業評価

整理番号
38-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	02	01	04	01	01
細事業名		財政管理事務				

担当部局	財務部
担当課等	財政課
担当課長の氏名	中西 俊彦
担当者の氏名	谷口 敏典

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) VII 計画推進のために 計画項目 (施策) ① 効率的な行政運営の推進 施策方針 4 財政の健全化
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 効率的・効果的な行政運営を実施するための財政課事務経費であり、最小の経費で取り組むことを目的としている 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 事業費の決算額の縮小 平成26年度事業の効果目標

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) わかりやすいことしの予算、一般会計予算書・説明資料及び一般会計決算附属資料の作成を主な内容としており、わかりやすいことしの予算は広報きょうたんごでの契約単価での作成、予算書及び決算附属資料については、市内の印刷業者への見積り競争により、安価な価格提示業者へ発注した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	37	国庫支出金		
	11	1,834	府支出金		
	12	5	起債		
	14	14	分担金・負担金		
	19	51	その他		
事業費合計		1,941	一般財源		1,941
			合計		1,941

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか 理由 ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由 予算書等の印刷製本は随意契約であるが、見積り競争により業者決定をしているため、最小の経費という観点での目標は達成できたと考えている
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか 理由 ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由 議会基本条例の関係もあるが、作成ページ数が年々増加傾向にあるため、掲載内容を選択するなど、総経費を縮小できるよう協議を深めていくことが必要であった。

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 予算書等の作成については現状維持となるが、予算説明資料等の掲載内容の精査を実施し、効率化できるものは効率化していきたい。
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 現状維持としているが、予算説明資料等の掲載内容を精査し、規模縮小できるものは縮小していきたい。